

# プレミアム体験型

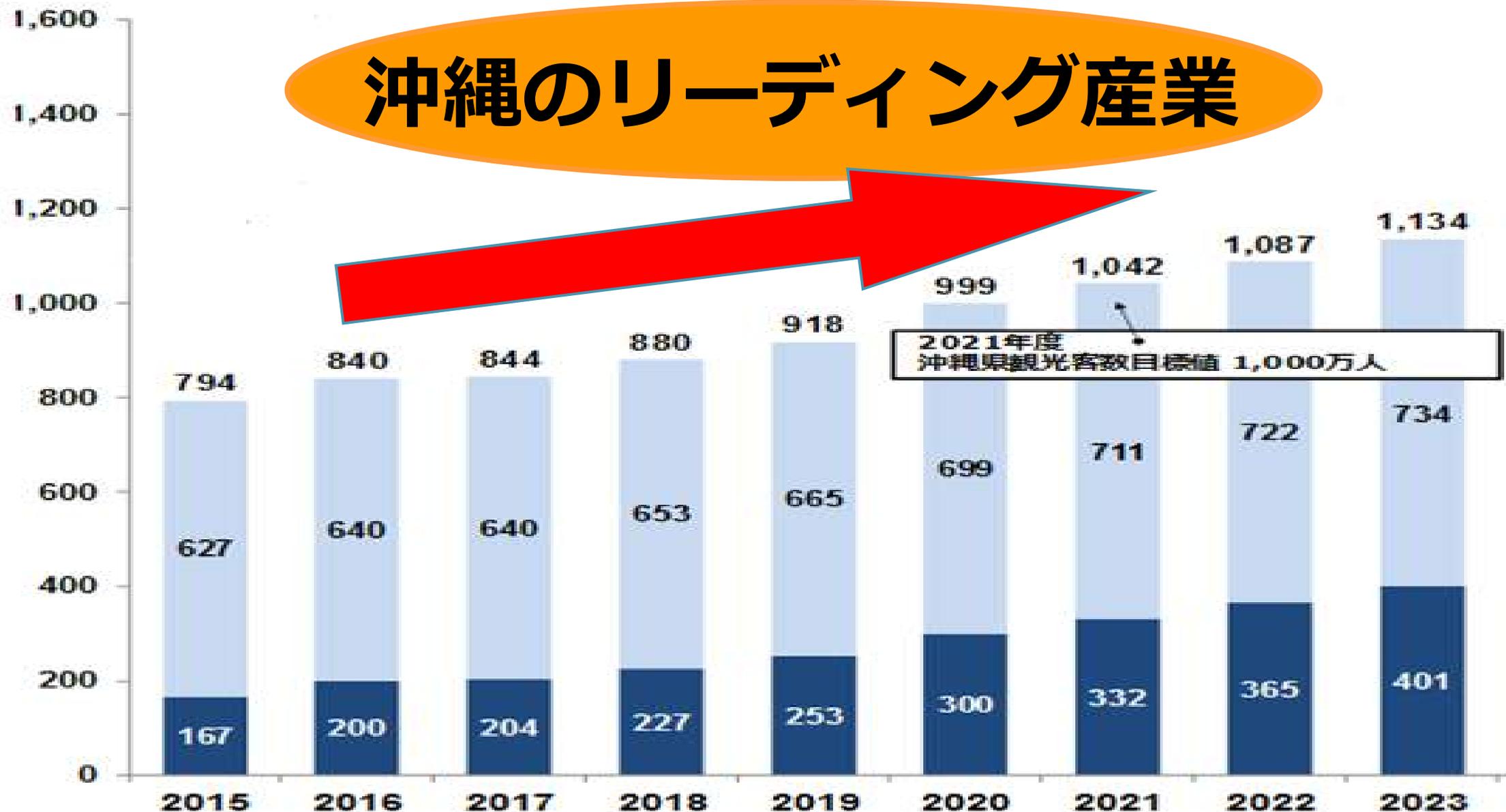
School trip の提案



沖縄県那覇市立  
寄宮中学校  
3年 知花 ももか

入域観光客数  
(万人)

# 沖縄のリーディング産業



# 沖縄を訪れた学校数と修学旅行生の数

	25年	26年	27年	28年
校数	2496	2555	2473	2514
人数	451.550	431.407	450.959	442.113

H28年度 2514校 合計 442,113人

そのうち中学校数 759校 合計 101,357人

# 沖縄に訪れる修学旅行生

沖縄の  
文化体験



## 修学旅行生の感想

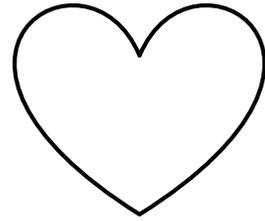
ヨタ芸かっこよかった!!

ハーリー頑張ってください!! 応援してます♡



学校同士で交流することで...

地元の学校



修学旅行団

おもてなしの心 ⇒ 交流

地元について

知識が深まる

いい機会。

歓迎される喜び ⇒ 交流

沖縄の伝統行事を

体験できる

いい機会。

Win-Winな関係

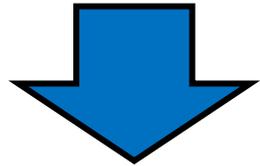
**そこで提案**

那覇ハーリーの時期に訪れる

修学旅行生と交流しよう!!

# 最大のポイント

修学旅行での交流



思い出・友情



沖縄のリピーター

もう一回この交流会  
してほしいな♡

また沖縄に  
来たいです!!

## 企画の内容

---

例) ハーリー疑似体験 + 校歌披露  
(沖縄の伝統文化)      ご当地自慢  
パフォーマンス大会

文化(生活)の違いを、  
交流(コミュニケーション)を通じて  
知ることができる

# これを那覇市内全中学校で行うとなると...

- 安岡中学校
- 首里中学校
- 真和志中学校

• 石田中学校

17の学校で  
受け入れが可能

録中学校

• 鏡原中学校

山中学校

• 松島中学校

宮中学校

• 仲井真中

嶺中学校

• 松城中学校

• 石嶺中学校

それぞれの学校の良さを活かした企画

将来性・持続性 – Continuity –

# 学校同士の交流 (事例)

石垣市大浜中学校 台湾との姉妹都市交流の様子



# 将来性・持続性 – Continuity –



お互いの国の  
文化や生活を知ることができる良い企画

学校交流には事例がある!!

そして予算0でスタート可能!!!

Good

中学生が沖縄のリーディング産業に  
貢献できる**チャンス**をくれ!

沖縄の観光発展

➡中学生の自信や実績に繋がる!

プレミアム

そしてもう1つ

# ハーリー乗船体験プログラム



# ハーリー乗船体験プログラム

シーサー作り



琉球ガラス作り



ハーリー体験



# 実現の可能性

観光事業

県文化観光  
スポーツ部

那覇市

那覇爬龍船  
振興会

OCVB

那覇ハーリー実行委員会の皆さんが  
タッグを組む!!

# このプログラムの最大のメリット

## シーサー作り



少人数

## 琉球ガラス作り



他では  
こんな体験  
絶対に出来ない!!

## ハーリー乗船体験

鉦打ち 1～2人  
漕ぎ手 約32人



大人  
数

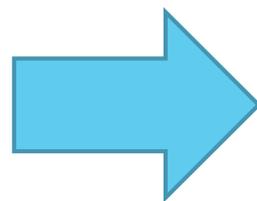
クラスの  
団結力UP

期間 4月中旬～5月初旬の約3週間  
平日 9時～13時 5校程度受け入れ

759校中、50校を目標に!!

体験時間 30分

4艇活用



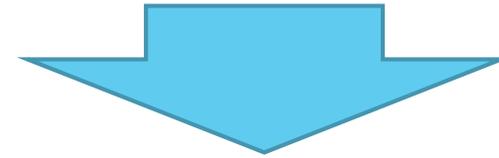
4クラス = 160人  
対応可能

# ビジネスとして

1人1000円×40人 = 4万円

50校×平均4クラス = 200クラス

4万×200クラス = 800万



新たな国内外観光客  
ハーリーファン獲得へ

# 参考文献

---

平成29年度教育旅行推進強化事業国内修学旅行誘致戦略策定事業委託業務報告書  
平成30年3月 沖縄県 (概要版)

琉球朝日放送 Qプラスニュース 2017/4/27